協働による村づくりをめざして

年頭のごあいさつ

平田村長　二瓶清美

新年あけましておめでとうございます。

希望に満ちた輝かしい平成18年の新春を、ご家族おそろいでお健やかにお迎えのことと心からお喜びを申し上げます。

村民の皆様には、日頃から村政に対する温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。お陰をもちまして、昨年我が平田村は、合併50周年を迎え、昨年11月1日に記念式典を開催いたしました。この記念すべき年を迎えられたことは、先人の方々のご努力の賜であり、新春を迎え、心新たにするものであります。

ご承知のとおり、現在の社会情勢は、21世紀に入り、国際化、情報化、高齢化が急速に進行しております。このような時にあたり、本村においても克服すべき多くの課題を抱えており、行政需要はその量・質ともますます複雑多様化するなど、誠に厳しいものがあります。加えて、国の三位一体の行財政改革による補助負担金の削減、地方交付税の削減など村財政は年々厳しいものとなっております。

私は、先の議会におきまして、当面「平田村」として持続する考えを表明し、公募による委員会等による「村づくり委員会」を設置し、村の「自律」に向けた意見の集約を進めております。

この中では、限られた財源を効率的かつ有効適切に執行するため、住民自ら行うべきこと、行政が行うことの役割分担を明確にし、住民と行政との「協働」による明るく、住みよい平田村の創造を目指すこととしております。住民の皆様方のご理解とご協力が不可欠となります。

今年は、本村で3地区目となる永田地区の農業集落排水事業と九生滝地区の担い手育成事業による農業基盤整備事業に着手することとしておりますので、事業実施地区はもちろん、村民各位のご理解をお願いいたします。また、あぶくま高原道路につきましては、平田インターから福島空港間の工事が着手され、早期開通が期待されます。また、平田インター周辺の整備計画として、検討を続けております「道の駅ひらた」につきましては、年度内に検討結果を集約し、本格的な事業計画に取り組みたいと考えております。

現在策定作業を進めております、平成18年度を初年度とし、平成27年度を目標年次とする今後10年間の村政が目指す村の指針となる「平田村総合計画（第4次）」につきましては、3月議会に提案することとしております。また、「平田村行財政改革大綱」は、行財政改革推進委員会の答申を受け、具体的な計画を進め、大綱に添った村の「行財政改革」を推進し、年々厳しさを増す村財政の効率的な運用をなお一層図りたいと考えております。

今後とも、村民の皆様の格段のご協力をお願い申し上げます。

平成18年は、皆様方にとりましてより良い一年でありますとともに、益々のご活躍とご多幸を心からお祈り申し上げまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

村の自律と新たな発展をめざして

新年のごあいさつ

平田村議会議長　根本嘉一

新年あけましておめでとうございます。

平成18年の新春を清々しく迎えられました村民の皆様に心からお喜びを申し上げます。

昨年は、平田村合併50周年を迎え、今日の平田村発展にご努力・ご苦心されました先人の皆様、そして日頃から限りないご支援を頂いてきた村民の皆様に改めて敬意と感謝を申し上げ、節目の年を契機として新たな時代に向け、情勢を的確に捉えながら着実な改革推進により、豊かで安心のむらづくりを誓ったところであります。

今年は、多くの市町村合併により、全国的に市町村の枠組みが大幅に変わり、自治体基本財源に対する「三位一体の改革」も第一次目標最終年になることから、地方分権・地方行革はまさに実行から成果の段階に入ってきております。このような状況のなか、本村では平成18年度から推進すべく、行政機能の現状維持をめざした「自律計画」及び行政基本指針となる「平田村総合計画（第4次）」の策定を昨年来進められてきており、新たな視点、新たな基準、そして新たな目標による行政再構築のスタートの年と言えます。

地方にとっては、国の厳しい財政事情からの改革圧力という感じは否めませんが、交付金をはじめとする地方自治財源の縮減が更に進められるという情勢のなかでは、尚一層の効率性や社会環境に適応した改革は積極的に推進しなければなりません。自立（律）を目指し新たな村の行政基本計画が、進むべき旗標として村民の皆様に理解され、支援されることを強く願っております。

厳しい状況は人口減少や少子高齢化にも表れ、これらの対策をはじめ行政課題は複雑多様化しておりますが、特に生活基盤・産業基盤の整備、福祉・教育施策の充実及び住民の安全対策等は行政責任として着実に維持発展させなければなりません。また、求められる新たな行政スタイルを模索しながら地域社会における行政と住民の役割分担と連携についても、「協働」の取り組みとして推進すべきとされています。

長く続いたデフレ不況は底を脱しつつあると言われますが、地域経済は依然不況状態であり、村内における就労環境などまだ厳しく不安定な状況です。

基幹となる農業も輸入自由化影響等による農産物の価格低迷は続いていますが、主要の畜産（和牛）では長年積み重ねられた改良生産努力が着実な成果として表れる明るい話題もあります。厳しい時代にこそ農業農村として営農への変わらぬ行政支援は地域振興策として是非必要であると思っております。

議会としましては、地方分権の進展に伴い果たすべき役割や責任の増大を認識し、村民の皆様の多様な意見を受け容れ、負託に応えるため執行機関と連携しながら、積極的な提案や発議活動を進める所存であります。

今年も村民の皆様に期待され応えられる議会活動を更に精力的に進めるべく、議員一同一層努力したいと思いますので、尚一層のご理解とご支援をお願い申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新春のお喜びを申し上げます

村長	二瓶清美
助役	遠藤臣一
収入役	吉田正
教育長	大沼茂司
外職員	一同
議長	根本嘉一
副議長	野崎健男
総務文教常任委員会	
委員長	佐藤健
副委員長	生田目穣
委員	野崎健男
〃	木田武一
福祉環境常任委員会	
委員長	澤村和明
副委員長	吉田好之
委員	根本嘉一
〃	高橋七重
〃	大河原周八
産業建設常任委員会	
委員長	上遠野健之助
副委員長	金澤久二
委員	坪井弘次
〃	澤村實
〃	阿部清
監査委員	三本松功
〃	大河原周八
教育委員会	
委員長	太田一
委員	関根綾子
〃	佐藤晋也
〃	久保木新作
選挙管理委員会	
委員長	舘初芳
委員	吉田健一
〃	鈴木郁子
〃	吉田秀忠
行政区長	
永田	有賀昇隆
小松原	国井友吉
下蓬田	水野義高
打違内	国井俊雄
乙空釜	横田一成
上蓬田	関根俊
蓬田新田	阿部二三男
九生滝	荒川高男
鴇子	久保木源
小平	関根克彦
西山一	関根利昌
西山二	国井勝正
東山	芳賀光恵
上北方	佐藤節雄
下北方	佐藤孝雄
駒形	鹿又正
中倉一	矢吹覚
中倉二	関根歸久雄